

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【公表番号】特表2020-534032(P2020-534032A)

【公表日】令和2年11月26日(2020.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2020-048

【出願番号】特願2020-537291(P2020-537291)

【国際特許分類】

A 24 F 40/51 (2020.01)

A 24 F 40/57 (2020.01)

A 24 F 47/00 (2020.01)

A 24 F 40/10 (2020.01)

【F I】

A 24 F 40/51

A 24 F 40/57

A 24 F 47/00

A 24 F 40/10

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月9日(2021.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エアロゾル送達装置であって、

周囲大気圧とエアロゾル送達装置の少なくとも一部を通る空気流によって引き起こされる圧力との差圧の測定値を発生するように構成されたセンサであって、差圧の測定値を対応する電気信号に変換するように構成されている、センサと、

センサに連結され、対応する電気信号を受信し、差圧が少なくとも閾値差圧である場合にのみアクティブモードで動作するように構成されたマイクロプロセッサであって、アクティブモードにあるマイクロプロセッサは、エアロゾル送達装置を制御してエアロゾル前駆体組成物からエアロゾルを発生させるように構成されている、マイクロプロセッサと備え、マイクロプロセッサが、センサからの対応する電気信号のうちの、所定の周波数のみを有する電気信号に応答して、エアロゾル送達装置の外部のデバイスからの他の周波数を有する電気信号がマイクロプロセッサをアクティブモードで動作させるのを阻止する、エアロゾル送達装置。

【請求項2】

センサは、微小電気機械システムベース(MEMSベース)のセンサである、請求項1に記載のエアロゾル送達装置。

【請求項3】

センサは、異なる方向におけるセンサへの圧力に基づいて差圧の測定値を発生するよう構成された多方向電気機械圧力センサである、請求項1に記載のエアロゾル送達装置。

【請求項4】

センサおよびマイクロプロセッサが防水材料にポッティングされて、センサおよびマイクロプロセッサを防水性にする、あるいは、水、エアロゾル前駆体組成物、またはエアロゾル前駆体組成物の気化した構成要素に耐性があるようにする、請求項1に記載のエアロ

ゾル送達装置。

【請求項 5】

センサは複数の周波数モードから選択可能な周波数モードで動作可能であり、マイクロプロセッサは、センサの周波数モードを選択して制御するように構成されており、

複数の周波数モードは、第1の周波数モードと、第2の周波数モードとを含み、センサによる電力消費がより大きく、測定値の分解能がより高い、より低い周波数での第2の周波数モードに対して、第1の周波数モードは、センサによる電力消費がより小さく、測定値の分解能がより低い、より高い周波数にある、請求項1に記載のエアロゾル送達装置。

【請求項 6】

エアロゾル前駆体組成物からエアロゾルを発生させるように構成されたエアロゾル送達装置のための制御本体であって、制御本体は、

周囲大気圧と制御本体の少なくとも一部を通る空気流によって引き起こされる圧力との差圧の測定値を発生するように構成されたセンサであって、差圧の測定値を対応する電気信号に変換するように構成されている、センサと、

センサに連結され、対応する電気信号を受信し、差圧が少なくとも閾値差圧である場合にのみアクティブモードで動作するように構成されたマイクロプロセッサであって、アクティブモードにあるマイクロプロセッサは、エアロゾル送達装置を制御してエアロゾル前駆体組成物からエアロゾルを発生させるように構成されている、マイクロプロセッサとを備え、マイクロプロセッサが、センサからの対応する電気信号のうちの、所定の周波数のみを有する電気信号に応答して、制御本体の外部のデバイスからの他の周波数を有する電気信号がマイクロプロセッサをアクティブモードで動作させるのを阻止する、制御本体。

【請求項 7】

センサは、微小電気機械システムベース（MEMSベース）のセンサである、請求項6に記載の制御本体。

【請求項 8】

センサは、異なる方向におけるセンサへの圧力に基づいて差圧の測定値を発生するように構成された多方向電気機械圧力センサである、請求項6に記載の制御本体。

【請求項 9】

センサおよびマイクロプロセッサが防水材料にポッティングされて、センサおよびマイクロプロセッサを防水性にする、あるいは、水、エアロゾル前駆体組成物、またはエアロゾル前駆体組成物の気化した構成要素に耐性があるようにする、請求項6に記載の制御本体。

【請求項 10】

センサは、複数の周波数モードから選択可能な周波数モードで動作可能であり、マイクロプロセッサは、センサの周波数モードを選択して制御するように構成されており、

複数の周波数モードは、第1の周波数モードと、第2の周波数モードとを含み、センサによる電力消費がより大きく、測定値の分解能がより高い、より低い周波数での第2の周波数モードに対して、第1の周波数モードは、センサによる電力消費がより小さく、測定値の分解能がより低い、より高い周波数にある、請求項6に記載の制御本体。